

なと Z A

発行元：社会福祉法人 県央福祉会 横浜市中山みどり園

226-0011 横浜市緑区中山町 395-2

Tel 045-931-8611 Fax 045-931-8626

発行責任者 熊井 さとみ

2016.4
第 109 号



咲かせよう！差別解消の花

4月から『障害者差別解消法』がスタートします。この法律は、障害のある人もない人も、互いに、その人らしさを認め合いながら共に生きるつくことを目指して作られました。つまり、障害のある人にとって、まだまだ暮らしにくいことがたくさんある、ということです。この法律では、例えば 障がいがあるからと受付の対応を拒否されたり、本人を無視して介助者や支援者だけに話しかけるなどのような「不当な差別的取扱い」を禁止し、また、意思を伝えあうために絵や写真、タブレット端末を使ったり、段差がある場合にスロープを使って補助するなどのような「合理的配慮の提供」を求めています。不当な差別的取扱いについては、障がいのある人が、地域生活において置き去りにならないよう、気持ちや意見をくみ取る力が求められ、社会の中でともに暮らしていくための土台をつくっていかねばなりません。合理的配慮の提供については、福祉で働く私たち職員が、日頃障がいのある人と接する機会の少ない人へ、その配慮のノウハウを伝えていかねばなりません。これからは福祉で働く私たち職員の職業倫理観や支援の力量がさらに問われてくる時代です。

春、様々な草木が芽吹く季節です。4月からは新たにグループホーム（セトルホームつづき）を開所します。地域で暮らすための支援を通して、障がいのある人が差別されることなく、安心して暮らしていくための働きかけを行っていきます。

（参考：内閣府 「平成 28 年 4 月 1 日から障害者差別解消法がスタートします！」パンフレット）



みどり園の庭先に花壇があります。毎日がスピードに追われる昨今ですが、みどり園のみなさんと一緒に「きれいだね」と笑顔を交わすゆるやかな時間も大切にしたいです。今年度もよろしくおねがいします。

中山みどり園 施設長 熊井さとみ



ズーラシアに行ってきました！

活動室 2 の外出として、よこはま動物園ズーラシアに行ってきました！まだ肌寒い季節でしたが、天気にも恵まれ、穏やかな日差しの中のんびりと世界各地の珍しい動物を眺めながら園内を散策することが出来ました。



ズーラシアは広く、後半は疲れた顔を見せる方もいましたが、サルやライオンなどを見るとすぐに笑顔で柵まで近づいて行ったり、興味深そうにジッと見入ったりしていました！

ライオンの鳴きまねをしたり、サルの動きをまねたりしている方もいました！とても似ている、よく観察しているなあと感心させられました。

利用者さん、職員ともに楽しく参加することが出来たので、よかったですと感じました！！

次回は利用者さんの意見も参考にするなど、皆さんが楽しめる、充実した外出を計画できたらと思います。(柴田)



私が一番行きたい場所はここ！

~Where I want to go most here!~



小さい頃から、トンネルを掘ることが大好きでした。もしかしたら、ここをくぐり抜けたら、違う世界に繋がっているのではないかと、大きなトトロが待っているのではないかと思いを巡らせてばかりいました。そんな時に友達が行った場所、それこそ私が探していたトンネルでした。そこは樹木で覆われたトンネルで、ウクライナのクレベンという場所にある通称「恋のトンネル (the Tunnel of Love)」というものです。恋のトンネルという名は、カップルが手を繋いで通ると、願いが叶うという伝説から名づけられたものらしいです。とっても素敵なスポットですよ！娘におねだりして、一緒にいってきます。

(川原慎司)

ここでふれいく クイズ!

問題 I : 4月29日は、語呂合わせから『ある動物の日』とされています。

さて、その動物は何でしょうか？

- ① 鹿
- ② クジラ
- ③ 猿
- ④ 羊



問題 II : イチゴが美味しい季節になりました。英語の strawberry という呼び名は、ある植物の名前が由来になっているという説があります。その植物とは何でしょうか？

- ①竹
- ②イチヨウ
- ③わら
- ④ヨモギ





4月のスケジュール



月	火	水	木	金	土	日
				1 新年度開始	2 開所日	3
4	5	6	7	8 	9	10
11	12	13	14	15	16 開所日	17
18	19	20	21	22	23	24
25 	26	27	28	29 昭和の日	30 	

~~~~~クイズの正解~~~~~

### 問題Ⅰ：④

正解は、④の羊です。4月29日、つまり429から『羊肉(ようにく)の日』とされています。

本来、野生の羊は毎年毎に毛が生え代わる動物でしたが、人間が品種改良を重ねて、毛が生え替わらないようにしてしまいました。羊毛は油分を含み温かいことから、古くから漁師が愛用したり、羊毛産業が発達したことからも、富の象徴とされてきました。また中国では、丸々太った羊は素晴らしいという意味で、羊+大=美 という漢字も誕生しました。



### 問題Ⅱ：③

正解は、③のわらです。わらは英語で“straw”と書き、イチゴの苗の周りにわらを敷く栽培方法に由来し、“strawberry”と名付けられたという説があります。

イチゴの実というとき赤くて甘い部分と思われがちですが、実はつぶつぶの部分(果実)ということをご存知でしたか？あの小さいつぶつぶの中に、種があるそうです。

私達が味わっているあの赤く美味しい部分は、「花托(かたく)」と呼ばれ、花卉が大きくなったものだそうです。これからが旬のイチゴ、栄養価も豊富なので、沢山食べたいですね！



### 編集後記

今年も中山は色鮮やかに染まり、散歩が待ち遠しい季節になりました。同時に4月は出会いや別れの季節ですね。この時期に感じる期待と寂しさが入り混じった複雑な気持ち。それも新年度が始まると、春風に舞い散るさくらと一緒に何処かに行ってしまう、いつの間にか無くなってしまふものなんですよ。今年度もなんてんを読んでもくださりありがとうございました。来年度はどんななんてんになるのか、春休みがあればゆっくり考えられるのにと考えています。(乳井)